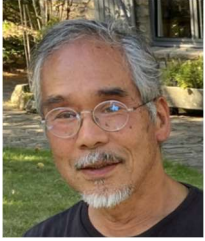


<講師プロフィール>

コリン・コバヤシ



1949年 東京生。1970年 渡仏。パリ首都圏に定住していたが、2020年からブルターニュ南部に移転。フリージャーナリスト(退職)、著述家。パリのNGO<チェルノブイリーベラルーシの子どもたち>理事。

1970年代から核/原子力問題に関心を持ち、日仏の様々な軍事・民事の反核運動にかかわってきた。

1990年代以降、『はんげんぱつ新聞』『原子力資料情報室通信』『世界』『沖縄タイムス』『インパクション』『前夜』『週刊金曜日』『季節』『こどけん通信』などに寄稿

著書に『グランドの塩物語』(2001年, 岩波新書, 2002年 渋沢クロード賞現代エッセイ賞)。

『国際原子力ロビーの犯罪』(2013年, 以文社)。

編共著に『市民のアソシエーション』(2003年, 太田出版)。

共著に『心の危機と臨床の知7——心と身体の世界化』(2006年, 人文書院),

『日本政府よ! 嘘をつくな! —自衛隊派兵, イラク日本人拉致事件の情報操作を暴く』(2004年, 作品社)。

訳書に P・ブールデュエ+H. ハーク『自由—交換』(1996年, 藤原書店), ジョゼ・ボヴェ他『パレスチナ国際市民派遣団—議長府防衛戦日記』(2002年, 太田出版)。ローラン・ジョフラン「68年5月」(2014年, インスクリプト)

守田敏也



1959年生まれ。

同志社大学社会的共通資本研究センター客員フェローなどを経て、現在はフリーライター。京都「被爆二世・三世の会」世話人、兵庫県・丹波篠山市原子力災害対策検討委員、滋賀県・米原の原子力防災を考える市民委員会アドバイザーを兼ねる。

福島原発事故以降、被曝地を度々訪問。各地で放射線防護と原子力災害対策の講演を行い、丹波篠山市では安定ヨウ素剤の事前配布を実現。欧米での講演、日本からの原発輸出が計画されていたトルコには4回訪問。

著書に 2015年『原発からの命の守り方』(海象社)

2024年『被爆二世・三世健康調査アンケート結果報告書』、パンフレット『原発からの命の守り方 2024』

共著に 2012『内部被曝』(岩波ブックレット)

2020 共著『放射線副読本 すっきり読み解き BOOK』

2021年共著『AFTER TEN YEARS 福島原発事故から10年を問う』、

ブログ・HP・note 上の「明日に向けて」、YouTube『もりもりチャンネル』でも多数の動画を配信。2024年夏より「もりもり原発解説」の連続配信も行っている。脱原全国ネットワークにも参加。

池島芙紀子



1939年 大阪生。1982年 反核ろばの会設立。

1990年 ストップ・ザ・もんじゅの会設立・代表

2000年 脱原発政策実現全国ネットワーク設立・事務局長

2011年 福島原発事故以降、14年間「さよなら原発関西行動」事務局長

主な取組みとして、「もんじゅ凍結」「もんじゅ廃炉」を求める100万人署名を2回、意見広告を全国紙はじめ多数。ドキュメンタリー映画「山のかなた」「カタストロフィ」制作。

脱原全国ネットワークでは年2回・院内集会で省庁へのヒヤリングと、超党派の議員との協力を築いている。

2025年冊子「再処理工場の核惨事」を編集。目下、「再処理の中止を求める団体署名」に取組み中。